組織目標評価報告書(2019年度)

部局名:	生殖補助医療技術教育研究	こセンター	ー 新局長名: 佐野 寛
	目標		目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	t	目標に関連する年度計画の番号	教育領域の目標の達成状況及び新たに生じた課題への取組
①社会と学生のニーズにマッチした学部・大学院教育の提供を目指し、センター運営委員会が中心となって教育内容の見直しによるより効果的な教育法の導入に努める。教員のFDに取り組み、必要に応じて業務の見直しなど、さらなる組織強化に取り組む。②「社会連携」、「学内外アカデミア連携」、「きめ細かい学生指導」を柱とした教育を実施する。③コースワークの充実を目指す。 ④コンプライアンス教育、キャリア支援教育などの充実を図る。 ⑤学部・大学院教育ともに、履修状況のチェックと中間評価等を実施し、教育効果の品質を維持する。生殖補助医療技術特別コースを継続実施・充実する。 ⑥特別コースの内容充実とアカデミックキャリア支援、適切な進路指導を図る。生殖補助医療技術特別コースについて、研修先・内容の見直しを含めて検証を行う。履修生向けキャリアサポート教育、現場技術者向けリカレント教育を充実する。 ⑦国外の教育機関と連携して、生殖補助医療技術教育の充実を試みる。生殖補助医療技術教育カリキュラム標準化懇談会を開催し、本教育プログラムの国内普及を図る。 ⑧国内外の協力教員の活用に努める。		3-1 4-1 9-1 15-1	①社会と学生のニーズにマッチした学部・大学院教育の提供に努めた。②地域の生殖補助医療機関およびアカデミアと連携し、学生の教育及びリカレント教育を実施した。③実習内容を見直すなど、コースワークの充実に努めた。④コンプライアンス教育、キャリア支援教育などの充実に努めた。⑤履修状況のチェックと中間評価等を実施し、教育効果の品質を維持するとともに、生殖補助医療技術特別コースを継続実施した。⑥生殖補助医療技術特別コースについて、研修先・内容の見直しなどの検証を行った。現場技術者向けリカレント教育の充実を図り、内容を変更したが、履修者の減少を招いた。⑦生殖補助医療技術教育カリキュラム標準化懇談会を開催し、本教育プログラムの国内普及に努めた。
②研究領域		目標に関連する年度計画の番号	研究領域の目標の達成状況
② 研究実施体制の 究資金獲得を推進す 拠点化をさらに推進 ③ 国際共同研究を ④業務整理等による	ヤーナルからの公表に努める。 強化のため、科研費申請数と採択率の向上および共同研究など外部研 する。学内にとどまらず国内外の研究者との共同研究体制を整備し、研究 する。 さらに推進するとともに、国際交流の活性化を図る。 研究推進力の増強に努める。 所教育に関する研究についても積極的に成果を公表する。	36-1 38-1	①研究成果のQ1ジャーナルからの公表に努めた。 ② 科研費申請および外部研究資金獲得に努めた。 ③スペインおよびイタリアから大学院生を受入れ、共同研究および国際交流の活性化に努めた。 ④研究推進力の増強に努めた。 ⑤生殖補助医療技術に関する研究成果を公表した。
③社会貢献(診療を含む)領域		ロ梅に眼体ナブ	
出前講座などを実施を地域、国、および洗知識と情報を積極的 ②リカレント教育を東 ③学部・大学院での 携した教育研究プロ 外の教育機関と生殖	所の国際的な教育研究拠点として、シンポジウム、リカレント教育、公開・ はするとともに、様々なメディアを通じて生殖補助医療に関わる研究成果 最外へ発信し、地域社会と連携した教育研究を進め、地域社会が求める に提供する。 東京・大阪で実施する。 特別コースをはじめ、国内外の社会人を積極的に受け入れ、国際的に連 グラムを開発することで、国際的に活躍できる人材を育成し輩出する。海 植補助医療技術教育に関する情報交換や交流について協議する。 所教育の全国普及を図り、我が国の生殖補助医療レベルの向上に資す		社会貢献(診療を含む)領域の目標の達成状況 ①リカレント教育、出前講座などを実施し、生殖補助医療に関わる研究成果を発信し、地域社会と連携した教育研究を進めた。②リカレント教育を東京・大阪で実施した。③学部・大学院での特別コースをはじめ、国内外の学生・社会人を受け入れた。スペインのムルシア大学と生殖補助医療技術教育に関する情報交換や交流について協議した。 ④生殖補助医療技術教育の全国普及を図り、我が国の生殖補助医療レベルの向上に資するために、生殖補助医療技術教育カリキュラム標準化懇談会を開催した。
④管理運営領域		日極に限壊する	
検証と改善に努める ②各部門の質向上と ③センターに配分さる ④概算要求できる事 ⑤関係部局の安全 ⑥運営委員会および 意識向上を図る。	・継続的に図りつつ、組織としてガバナンスが効果的に作用する体制の ・個性化の推進を図る。 れた予算については、効率的・戦略的配分を行なう。 ・項を検討し、新たなプロジェクトの作成につなげる。 衛生委員会と協力し、安全衛生の周知徹底を図る。 が学部・大学院の特別コース等でコンプライアンス遵守の周知徹底と遵守 関係プログラムの実施および開発に協力する。	目標に関連する 年度計画の番号 77-1	管理運営領域の目標の達成状況 ①組織としてガバナンスが効果的に作用する体制の改善に努めた。 ②各部門の質向上を図った。 ③センターに配分された予算の効率的執行に努めた。 ④新たなプロジェクトについて検討したが、新プロジェクト作成につなげるまでには至らなかった。 ⑤安全衛生の周知徹底を図った。 ⑥運営委員会および学部・大学院の特別コース等でコンプライアンス遵守の周知徹底と遵守意識向上を図った。 ⑦リプロダクションセンター設立及び運営に協力した。
⑤センター・機構等業務		目標に関連する	英田海営名はの日標の法式と27
施するとともに、内容②受講者アンケート。 ③受講者アンケート。 ③現場で胚培養士と 大学院研究科との退 ④外国人留学生を積 ⑤海外の教育・医療 ⑥国内での生殖補取 ラム標準化懇談会を	療技術キャリア養成特別コース」、大学院「生殖補助医療学コース」を実際見直し・改善を継続的に実施する。を実施し、リカレント教育内容の充実を図る。こして活躍中の社会人の博士前期・後期課程への入学を推進する。関係連携による生殖補助医療技術教育研究のグローバル化を推進する。債極的に受け入れるとともに、英語での教育体制について検討する。機関と生殖補助医療技術教育研究について交流を図る。他関と生殖補助医療技術教育研究について交流を図る。か医療技術教育の普及を推進する。生殖補助医療技術教育研究カリキュ事務的にサポートする。	目標に関連する年度計画の番号	管理運営領域の目標の達成状況 ①学部「生殖補助医療技術キャリア養成特別コース」、大学院「生殖補助医療学コース」を実施するとともに、内容見直しを実施した。 ②受講者アンケートを実施し、リカレント教育内容の見直しを図った。 ③現場で胚培養士として活躍中の社会人の博士前期・後期課程への入学を推進した。 ④スペインとイタリアから留学生を受け入れ、英語での教育を行った。 ⑤スペインの教育・医療機関と生殖補助医療技術教育研究について学生の派遣を含む交流を図った。 ⑥国内での生殖補助医療技術教育の普及を推進するために、生殖補助医療技術教育研究カリキュラム標準化懇談会を事務的にサポートした。 ⑦事務業務の見直し・システム化を推進し、予算執行の厳格化を行った。